

今泉の宮の曾我堂

曾我五郎、十郎兄弟のあだ討ちの話は有名です。入山瀬の曾我寺や厚原の曾我八幡は、曾我兄弟を祭ってあることで知られています。このほか、今泉の十王子神社境内に「曾我堂」というお堂があります。このお堂は、昔、この付近にある曾我小路と呼ばれた小路の奥にあり、曾我五郎の木像を祭ってあると言われています。

五郎の亡霊が門前に

今から五百年くらい前のことです。

今泉に善徳寺という臨済宗の大きなお寺がありました。そのお寺の竺帆和尚というお坊



昭和六十年四月五日号

さんが、ある晩夢を見ました。それは、富士の巻き狩りのとき、親のかたきを討つた曾我五郎の亡霊が、善徳寺の門前に立ち、三帆和尚にぜひ会いたいと言いました。和尚は、五郎を本堂に入れ、話を聞きました。五郎は、「私はいま地獄の修羅道で、成仏できなくて困っています。どうか、私を成仏させてください」和尚は、「よろしい。私の法力で必ず成仏させてやるから静かに待つていなさい」と言いました。

五郎の亡霊は、につこり笑つて姿を消しました。三帆和尚は、それから三晩三晩、寝ずに五郎の木像を刻み、ほこらを建てて、その中に木像を祭り、朝晩お経を上げて五郎の魂を供養しました。そして毎年五月二十八日には、盛大な祭典をしたそうです。

山の神さんと合祀

増田貞一さん（今泉）

曾我堂の近くに住む増田貞一さんは、「お堂のいわれはよく知らないが六十年〜七十年前にはね、すぐ近くに曾我小路と呼んでいた小路があつて、その奥にお堂があつたよ。そのころどういふわけかわからないけど、十王つあんじゅうおうつあんの山の神さんと合祀したんだね」と語つていました。



十王子神社内の曾我堂